

ECMO 認定臨床工学技士 申請の手引き

2026 年 7 月 31 日作成

各申請ルートの要件

ECMO 認定臨床工学技士の申請ルートは以下の 2 種類です。

申請時点で要件を満たすいずれかのルートを選択してください。

本資格について

- ECMO 認定臨床工学技士は、ECMO・PCPS 管理に必要な知識・技術を評価することを目的とした認定資格です。
- 本資格は、4 学会合同体外循環技術認定士と同一の資格ではありません。また、体外循環技術認定士を代替する資格でもありません。
- 一方で、ECMO・PCPS 診療に携わる臨床工学技士を対象としており、体外循環業務を専門としない施設に勤務する臨床工学技士も取得できるように設計されています。
- なお、4 学会合同体外循環技術認定士は、より広範な体外循環領域を対象とした高度な認定資格であり、本制度ではその専門性を尊重し、移行ルートを設けています。

1) 標準ルート

以下の要件を満たしてください。

- 臨床工学技士として常勤 3 年以上の臨床経験を有すること
- ECMO、PCPS に関する臨床経験を有し、過去 3 年間の手技実績点を 3 点以上取得していること
- 学術活動、関連学会活動および教育研修を通じて、過去 3 年間に合計 20 点以上を取得していること
- 日本心肺補助学会の会員であること
- 書類審査通過後に筆記試験を受験し、合格すること

(参考) 手技実績点について

手技実績は、以下のとおり点数化されます

内容	点数
ECMO 導入・回路立ち上げ	1 点
導入後 72 時間以内の集中管理	1 点
回路交換または重大トラブル対応	2 点
ECMO 離脱プロセスへの関与	1 点

※ 手技実績は過去 3 年間を対象とします。

2) 体外循環技術認定士保有者（移行ルート）

以下の要件を満たす必要があります。

- ・ 4 学会合同体外循環技術認定士の資格を有すること
- ・ 日本心肺補助学会の会員であること

移行ルートでは、

- ・ 手技実績点（3 点以上）
- ・ 学術活動・関連学会活動・教育研修（20 点以上）
- ・ 筆記試験

は免除されます。

体外循環技術認定士保有者（移行ルート）は、4 学会合同体外循環技術認定士制度において既に十分な実績と知識が確認されているため、手技実績、学術活動等および筆記試験を免除します。

（注意事項）

- ・ 移行ルートで使用する 4 学会合同体外循環技術認定士資格は、申請時点で有効期間内である必要があります。
- ・ 日本心肺補助学会の会員であることが必要です。
- ・ 当該年度の認定申請を行う場合、前年度より日本心肺補助学会の会員である必要があります。2026 年度申請では、2025 年度会員（2025 年 11 月～2026 年 10 月の年会費を納入した会員）が対象です。
- ・ いずれのルートでも、認定審査料および認定時の登録料が必要です。

（比較表）

項目	標準ルート	移行ルート
臨床経験 3 年以上	○	要件なし
臨床経験証明書	○	免除
手技実績 3 点	○	免除
学術活動等 20 点	○	免除
日本心肺補助学会会員	○	○
筆記試験	○	免除

申請書類の提出方法

申請にあたっては、以下の①および②の両方を提出してください。

① 申請書類原本（紙媒体）の郵送

申請用紙に必要事項を記入のうえ印刷し、証明写真の貼付・署名・押印をしてください。必要書類のコピーを指定の台紙に貼付し、すべての必要書類を同封して、簡易書留（もしくはレターパック）により事務局宛に郵送してください。

② 申請書類データ（Excel ファイル）の提出

記入済みの申請用紙（Excel ファイル）を、日本心肺補助学会ホームページ上の指定のメールフォームより提出してください。

申請書類データには、署名・押印・証明写真の貼付・添付書類の貼付は不要です。

提出する Excel ファイルは、以下のシートについて、必要事項をすべて入力した状態で提出してください。

<提出する Excel ファイル>

記入済みの Excel ファイル全体を提出してください。

申請ルートに応じて、以下のシートに必要事項を入力してください。

標準ルートで入力が必要なシート

- ・【00】提出チェック
- ・【01】申請書・履歴書
- ・【03】ECMO・PCPS 手技実績
- ・【04】学術活動・関連学会活動・教育研修実績一覧

標準ルートで紙媒体提出時に使用するシート

- ・【02】臨床経験証明書の台紙
- ・【02b】臨床経験証明書（所属施設に所定様式がない場合）
- ・【05】臨床工学技士免許証の台紙
- ・【07】日本心肺補助学会年会費納入証明書の台紙
- ・【08】認定審査料振込控えの台紙
- ・【09】学術活動・関連学会活動・教育研修証明資料の台紙

体外循環技術認定士保有者（移行ルート）で入力が必要なシート

- ・【00】提出チェック
- ・【01】申請書・履歴書

体外循環技術認定士保有者（移行ルート）で紙媒体提出時に使用するシート

- ・【05】臨床工学技士免許証の台紙
- ・【06】4学会合同体外循環技術認定士認定証の台紙
- ・【07】日本心肺補助学会年会費納入証明書の台紙
- ・【08】認定審査料振込控えの台紙

（注意事項）

- ・郵送書類および Excel データの両方が申請受付期間内に事務局へ到着したことをもって、申請受理となります。
- ・提出期限を過ぎた申請は受理できません。
- ・提出書類に不備がある場合は、審査対象外となることがあります。提出前に【00_提出チェック】を用いて、必要書類および入力内容を必ず確認してください。

書類作成の注意事項

●【00_提出チェック】

- 1) 黄色のセルに入力してください。緑色のセルは事務局確認欄です。
- 2) 申請年月日、申請者氏名、申請ルートを入力してください。
- 3) 提出する書類を確認し、黄色セルの「申請者確認」欄を「確認済」にしてください。
- 4) 標準ルートでは、臨床経験証明書、ECMO・PCPS 手技実績および学術活動・関連学会活動・教育研修実績一覧の提出が必要です。
- 5) 体外循環技術認定士保有者（移行ルート）では、上記書類は提出不要です。

●【01_申請書・履歴書】

- 1) 黄色のセルに入力してください。
- 2) 写真は縦 4 cm×横 3 cm、申請前 3 か月以内に撮影したものを印刷後に貼付してください。
- 3) 氏名（入力）欄には申請者氏名を入力してください。
- 4) 「申請者署名」欄には印刷後に自筆で署名し、押印してください。
- 5) 臨床工学技士免許証の免許登録番号および取得年月日は、免許証の記載どおり入力してください。
- 6) 日本心肺補助学会の会員番号・入会年を入力してください。会員番号・入会年は学会ホームページのマイページで確認できます。
- 7) 職歴・役職は直近 5 年間を記載してください。
- 8) 体外循環技術認定士保有者（移行ルート）の申請者は、日本体外循環技術医学会の会員番号、4学会合同体外循環技術認定士の認定番号および資格の有効期限を入力してください。認定番号および有効期限は、申請時点で有効な認定証の記載どおり入力してください。

●【02_臨床経験証明書】・【02b_臨床経験証明書（テンプレート）】（標準ルートのみ）

- 1) 臨床工学技士として常勤3年以上勤務したことを証明する書類を提出してください。
- 2) 所属施設が発行する勤務証明書または在職証明書を使用できます。証明書には、申請者氏名、勤務施設・部署、勤務期間、常勤・非常勤の別および証明者名が記載され、施設長または所属部門責任者の署名もしくは押印があることを確認してください。
- 3) 所属施設に所定の様式がない場合は、【02b_臨床経験証明書（テンプレート）】を使用してください。
- 4) 証明書は【02_臨床経験証明書】の台紙とともに紙媒体で提出してください。
- 5) 移行ルートの申請者は提出不要です。

●【03_ECMO・PCPS 手技実績】（標準ルートのみ）

- 1) 過去3年間に経験したECMO、PCPSに関する手技実績を記載してください。
- 2) 2026年度申請では、対象期間は 2023年4月1日から2026年3月31日までです。
- 3) 手技実績は、以下の基準で点数を算定してください。
 - ・ECMO導入および回路立ち上げ：1点
 - ・導入後72時間以内の集中管理：1点
 - ・回路交換または重大トラブル対応：2点
 - ・ECMO離脱プロセスへの関与：1点
- 4) 合計3点以上となるよう記載してください。
- 5) 施設長 or 所属部門責任者（ECMO責任医師等）の承認を受けてください。
- 6) 患者氏名、患者ID、生年月日など、患者を特定できる情報は記載しないでください。
- 7) 体外循環技術認定士保有者（移行ルート）の申請者は提出不要です。

※ 手技実績は症例数ではなく点数制です。合計3点以上となるよう記載してください。

●【04_学術活動・関連学会活動・教育研修実績一覧】（標準ルートのみ）

- 1) 過去3年間の実績を記載してください。
- 2) 2026年度申請では、対象期間は 2023年4月1日から2026年3月31日までです。
- 3) 学術活動、関連学会活動および教育研修を合わせて20点以上となるよう記載してください。
- 4) 証明資料番号を記載し、添付資料と対応させてください。
- 5) 記載欄が不足する場合は、本シートを複製して使用してください。
- 6) 体外循環技術認定士保有者（移行ルート）の申請者は提出不要です。

●【05～09 添付書類の台紙】

- 1) 臨床工学技士免許証、日本心肺補助学会年会費納入証明書、認定審査料振込控えは、それぞれ指定の台紙に貼付してください。
- 2) 体外循環技術認定士保有者（移行ルート）の申請者は、4 学会合同体外循環技術認定士認定証のコピーを指定の台紙に貼付してください。

- 3) 氏名、認定番号、有効期限、納入日、金額などが判読できる状態でコピーしてください。
- 4) A4 サイズの台紙に収まるよう、適宜縮小してください。

申請の手引き

□認定審査料

- ・認定審査料：5,500 円（税込）
- ・支払方法：銀行振込
銀行名：三菱 UFJ 銀行 浦和支店（店番：669）
預金種目：普通
口座番号：1059438
名 義：一般社団法人 日本心肺補助学会（イッパ ンシャダ ンホウジ シン ニホンシンパ ーイホジ ョカ ッカイ）

※ 振込名義は【会員番号 氏名】としてください。

例) 0001 シンパイ タロウ

※ 他人名義による代理振り込みの場合は、申請を受理できません。

※ 納入済みの認定審査料および登録料は返却しません。

□提出書類

標準ルート

1. 提出チェックシート（【00】）
2. 認定申請書・履歴書（【01】）
3. 臨床経験証明書（【02】 【02b】）
4. ECMO・PCPS 手技実績（【03】）
5. 学術活動・関連学会活動・教育研修実績一覧（【04】）
6. 台紙に貼付した臨床工学技士免許証コピー（【05】）
7. 台紙に貼付した日本心肺補助学会年会費納入証明書（【07】）
8. 台紙に貼付した認定審査料振込控え（【08】）
9. 学術活動・関連学会活動・教育研修の証明資料（【09】）
10. 官製はがき（85 円）1 枚

体外循環技術認定士保有者（移行ルート）

1. 提出チェックシート（【00】）
2. 認定申請書・履歴書（【01】）
3. 台紙に貼付した臨床工学技士免許証コピー（【05】）
4. 台紙に貼付した 4 学会合同体外循環技術認定士認定証コピー（【06】）
5. 台紙に貼付した日本心肺補助学会年会費納入証明書（【07】）

6. 台紙に貼付した認定審査料振込控え（【08】）

※ 提出書類はすべて A4 サイズで印刷してください。

※ 提出書類は上記の順番に並べ、左上をペーパークリップ（大きいゼムクリップを推奨）で留めてください。

※ 免許証・認定証等の原本は提出しないでください。

※ 官製はがきは、表面に受験票送付先となる申請者本人の氏名・住所を記載し、裏面は何も記載せず空白のままとしてください。事務局で裏面に受験票の情報を印刷・記載し、返送します。

□郵送書類のまとめ方・提出方法

- 1) 提出書類は上記の順番に揃えてください。
- 2) 申請受付期間内に、日本心肺補助学会事務局へ郵送してください。
- 3) 書類の性質上、簡易書留またはレターパック等、配送状況を追跡できる方法で送付してください。
- 4) 提出書類は返却しませんので、必ず控えを保管してください。

□申請書類データの提出方法

- 1) 申請書類データには、
 - ・署名
 - ・押印
 - ・証明写真
 - ・添付書類は不要です。
- 2) 記入済みの Excel ファイルを、日本心肺補助学会ホームページ上の指定メールフォームより提出してください。
- 3) 郵送書類および Excel データの両方が受付期間内に事務局へ到着した時点で申請受理となります。

□申請受付期間

2026 年 8 月 1 日（土）～ 2026 年 10 月 31 日（土） [必着厳守]

※ 締切日以降は一切受け付けませんのでご注意ください。

□郵送先

〒333-0842

埼玉県川口市前川 1-1-51

日本心肺補助学会 事務局 ECMO 認定制度委員会 宛

□申請書類データの提出先

日本心肺補助学会ホームページ ECMO 認定制度ページ内指定メールフォーム

□申請前チェックリスト

- ☐ 自分の申請ルートを確認した
- ☐ 必要書類を確認した
- ☐ 免許証を貼付した
- ☐ 年会費納入証明を貼付した
- ☐ 手技実績 3 点を確認した（標準）
- ☐ 学術活動 20 点を確認した（標準）
- ☐ 体外循環技術認定士証を貼付した（移行）
- ☐ 振込を完了した

□FAQ

Q. 移行ルートでも筆記試験を受験しますか？

A. いいえ。移行ルートでは筆記試験は免除です。

Q. 手技実績は症例数ですか？

A. 症例数ではなく点数制です。

Q. 20 点はいつまでの実績ですか？

A. 過去 3 年間です。